

助産診断技術学(ハイリスク)

ナンバリング:N3-S2-L04

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

周産期にある対象がより健康で安全かつ主体的に各期を過ごすことができるよう、ハイリスク事例の健康状態の診断と助産ケアの基本について学修する。さらに助産ケアの提供にあたり、多職種との円滑なコミュニケーションに基づく展開方法についても体験的に学ぶ。具体的には妊娠期・分娩期・産褥期における異常事例に対する助産診断と助産ケアについて学修する。

・教育成果(アウトカム)

助産師には周産期の各期に起こりうる異常に関するスクリーニング能力が必要となる。この授業を通じ、妊娠期から産褥期における異常について、その症状や経過、治療方針および助産診断の基本について理解することができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 身体・心理社会的ハイリスク妊婦の状態をアセスメントし、正常の逸脱の判断と重症化予防の観点からの支援を説明できる。
2. 妊娠期における異常事例やマイナートラブルを抱えた事例に対する助産ケアについて説明できる。
3. 分娩期進行に伴う異常を予測し、予防的なケアについて説明できる。
4. 分娩期における事例に対し、異常発生の母子の状態から必要な介入を判断し助産ケアについて説明できる。
5. 産褥期に起こりうる異常のメカニズムを学び、必要な助産診断の基本を説明できる。
6. 産褥期における異常事例に対する助産ケアについて説明できる。
7. 妊娠期から産褥期を通じ、ハイリスク妊産婦と家族への助産ケアの基本を説明できる。
8. ハイリスク妊産婦および新生児への助産師の役割ならびにチーム医療における協働・連携について理解できる。

・授業日程

【講義】 会場： マルチ3-A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
2/2 火 1限	<p>【授業内容】 妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア① (グループワーク) ・妊娠疾患(妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群)、妊娠持続期間の異常(切迫流産・早産)、合併症妊娠等について、そのメカニズムと助産ケアについて説明することができる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、7、8</p> <p>【事前学修:60分】 母性看護方法論(2年後期)の「妊娠中の異常」について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】 WebClassに掲載された妊娠期の異常のメカニズムと助産ケアの要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
2/2 火 2限	<p>【授業内容】 妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア② (グループワーク) ・異常事例に対する妊婦健康診査を概観しながら、保健指導場面を通じ、助産師の役割について具体化することができる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、7、8</p> <p>【事前学修:60分】 母性看護方法論(2年後期)「妊娠中のマイナートラブル」について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】 演習で示された事例に対する助産診断とケアについてまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師

2/2 火 3限	<p>【授業内容】分娩期の異常事例に対する助産診断とケア①(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児心拍数陣痛図を判読し、胎児の健康状態をアセスメントできる ・胎児心拍数陣痛図の波形のレベル分類および分類に基づく対応を説明できる <p>【関連するSBO】3、4</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)「胎児心拍陣痛図(CTG)の判読」をもとに予習する</p> <p>【事後学修:90分】胎児心拍数陣痛図の判読と対応について重要点をノート等にまとめる(2/19(金)提出)</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
2/5 金 3限	<p>【授業内容】分娩期の異常事例に対する助産診断とケア②(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児機能不全の診断基準および原因、リスク因子を説明できる ・胎児機能不全発生時の医療対応を説明できる ・胎児機能不全発生時の助産ケアを実践できる <p>【関連するSBO】3、4、7、8</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回の授業内容および事後学修内容をもとに予習する ・教科書「助産学講座7」の「胎児機能不全」(P155-156)をもとに予習する <p>【事後学修:90分】胎児機能不全の診断、原因、リスク因子および発生時の対応について重要点をノート等にまとめる(2/19(金)提出)</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
2/5 金 4限	<p>【授業内容】分娩期の異常事例に対する助産診断とケア③(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩後異常出血(大量出血、産科危機的出血)の診断基準、原因、リスク因子を説明できる ・分娩後異常出血発生時の医療対応を説明できる ・分娩後異常出血発生時の助産ケアを実践できる ・産科危機的出血への対応フローチャートについて説明できる <p>【関連するSBO】3、4、7、8</p> <p>【事前学修:60分】教科書「助産技術アドバンス」のP134-141をもとに予習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「助産学講座7」の「分娩時の異常出血」および「羊水塞栓症」(P156-158)をもとに予習する <p>【事後学修:90分】分娩後異常出血の診断、原因、リスク因子および発生時の対応について重要点をノート等にまとめる(2/19(金)提出)</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
2/9 火 1限	<p>【授業内容】産褥期の異常事例に対する助産診断とケア②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における身体的問題(子宮復古不全、産褥熱、深部静脈血栓症など)および精神的問題の病態と助産ケアについて説明することができる。 ・産褥期の救急対応を要する疾患の病態と対応について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち子宮復古不全、産褥熱、深部静脈血栓症の病態と看護について復習する。 ・教科書(助産学講座7)p304~332 を学修する。 <p>【事後学修:90分】産褥期の異常事例に関する病態と助産診断の視点とケアの要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/9 火 2限	<p>【授業内容】産褥期の異常事例に対する助産診断とケア②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における乳房トラブル(乳腺炎、乳頭トラブルなど)の病態と助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】5、6、7、8</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち「乳房トラブル(乳腺炎、乳頭トラブルなど)病態と看護」についての復習する。 ・教科書(助産学講座7)p346~353 を学修する。 <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における乳房トラブルの病態と助産診断の視点、ケアについて要点をまとめる。 	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/12 金 3限	<p>【授業内容】周産期における母体急変時の初期対応(ディスカッション、ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインから客観的に急変を認識できる。 ・大量出血時に輸液・酸素投与の必要性について説明できる。 ・適切な妊産褥婦の一次救命処置、二次救命処置について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7、8</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護方法論(2年後期)、母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち妊娠・分娩・産褥期の異常についての復習する。 ・教科書(助産学講座7)p214~230、312~332を読んでくる。特に産科危機的出血のおもな原因疾患および産科危機的出血への対応フローチャートを確認する。 <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠時期ごとの救急対応を要するおもな周産期疾患について病態と対応のポイントについて確認する。 <p>【期末試験に向けた取り組み540分以上】</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期 第6版	我部山キヨ子他 編	医学書院	2021
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期 第7版	我部山キヨ子他 編	医学書院	2026
教	母子健康手帳	母子健康手帳子ども子育て支援部	吉田印刷	2025
教	根拠と事故防止からみた母性看護技術 第4版	石村由利子 編	医学書院	2026
教	助産業務ガイドライン 2024	日本助産師会助産業務ガイドライン改訂検討特別委員会編	日本助産師会出版	2025
教	写真でわかる助産技術アドバンス 新訂第2版	中根直子 監 他	インターメディア	2025
教	マタニティアセスメントガイド 新訂第5版	吉沢豊予子 編 他	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023
教	マタニティ診断ガイドブック 第7版	日本助産診断実践学会(編集)	医学書院	2025
参	最新産科学 異常編 第23版	荒木勤、鈴木俊治	文光堂	2023
参	産婦人科必修 母体急変時の初期対応 第3版	日本母体救命システム普及協議会、京都産婦人科救急診療研究会編著	メディカ出版	2020
参	EPDS活用ガイド	宗田聡 他	南山堂	2017
参	病気がみえる vol.10 産科 第4版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2018
参	産婦人科診療ガイドラインー産科編2023 (PDF版) https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf	日本産婦人科学会 日本産婦人科医会	日本産婦人科学会	2023
参	乳腺炎ケアガイドライン2020 (PDF版) https://www.midwife.or.jp/user/media/midwife/page/guideline/tab01/nyusenenu_guideline_2020_2.pdf	日本助産師会/日本助産学会	日本助産師会出版	2020
参	胎児心拍数陣痛図の判読と解釈・対応	日本産婦人科医会	日本産婦人科医会	2024

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験50%、グループワーク50%にて評価する。グループワークは授業内で配布する評価表に沿って評価する。
【形成的評価】授業内容毎に小テストを実施し、理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2~5.7	1~8		50					50
2~5.7	1~6				50			50
合計		0	50	0	50	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebClassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師(別表2):助産診断・技術学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

医療機関において助産師の実務経験を有する教員および地域連携を担う専門職が実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義資料投影
講義・演習	DVDデッキ	1	DVD再生
講義	分娩台マミージョイ LDR	2	異常分娩シミュレーション
講義	リザーバー付き酸素マスク	2	異常分娩シミュレーション
講義	分娩介助モデルセット(分娩用外陰部Ⅱ型)	2	異常分娩シミュレーション
演習	妊婦体験ジャケット	2	妊娠経過の診断
演習	レオポルド触診用妊婦モデル	2	妊娠経過の診断
演習	コーケン母乳育児体験セット	2	母乳育児支援
演習	多目的実習用新生児モデル コーケンベビー	2	母乳育児支援
演習	産褥子宮触診モデル	2	産褥経過の診断